

Okuno, J. 2009. *Pliopontonia harazakii* sp. nov., a new species of coral-associated shrimp (Decapoda: Caridea: Palaemonidae) from Yaku-shima Island, southern Japan. Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. A (Zool.), suppl., 3: 105-113.

Komai, T. and J. Okuno. 2009. Two new species of the hermit crab genus *Pagurixus* (Decapoda: Anomura: Paguridae) from the western Pacific. Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. A (Zool.), suppl., 3: 137-156.

奥野淳兒・横田雅臣・村井智臣, 2008. サミダレヒメホンヤドカリの本州からの初記録. Cancer, (17): 9-11.

柳 研介

Fukunaga, Y., M. Kurahashi, K. Yanagi, A. Yokota and S. Harayama. 2008. *Acanthopleuribacter pedis* gen. nov., sp. nov., a novel marine bacterium isolated from chiton, and description of Acanthopleuribacteraceae fam. nov., Acanthopleuribacterales ord. nov., Holophagaceae fam. nov., and Holophagae classis nov. in the phylum 'Acidobacteria'. Int. J. Syst. Evol. Microbiol., 58: 2597-2601.

菊地則雄

阿部真比古・小林正裕・玉城泉也・藤吉栄次・菊地則雄. 2008. ATP6遺伝子に関連したミトコンドリアDNA部分塩基配列を用いた変種オオバアサクサノリ *Porphyra tenera* var. *tamatsuenensis* の判別について(予報). 水産増殖, 56(4): 497-503.

榎本祐嗣・須藤卓也・菊地則雄. 2009. 滑海藻と未滑海藻の潤滑性ならびに古墳時代における修羅の潤滑法についての一考察. トライポロジスト, 54(3): 217-220.

菊地則雄・阿部真比古・島村嘉一・玉城泉也・藤吉栄次・小林正裕. 2009. 千葉県における絶滅危惧種紅藻アサクサノリの生育. 千葉中央博自然誌研究報告, 10(2): 13-24.

村田明久

Chan, B. K. K., A. Murata and P. Lee. 2008. Latitudinal gradient in the distribution of intertidal barnacles of the *Tetraclita* species complex in Asian waters. Mar. Ecol. Prog. Ser., (362): 201-210.

教育普及業績

※海からのたより=海の博物館メールマガジン「海からのたより」

※海の紳士録(千葉日報)は職員ごとに1本にまとめました。

布留川 毅

布留川 毅. 2008. 海辺の鳥. 海からのたより, 第41号.

布留川 毅. 2008. 海の紳士録5 ウミスズメ. 千葉日報, 7月7日.

吹春俊光

吹春俊光. 2008. 担子菌類. In 国立科学博物館(編), 菌類のふしぎ. pp. 53-70. 東海大学出版会.

吹春俊光. 2008. 近・現代博物誌に描かれたキノコ. In INAX ギャラリー (編), 考えるきのこ. pp. 25-51. INAX出版.

吹春俊光. 2008. 房総のキノコ生活のよき伴侶. In ふるさと文化研究会(編), 房総(千葉)学検定学習帳. pp. 44-48. 国書刊行会.

吹春俊光. 2008. 醤油工場でつくられる本物のホンシメジ. In ふるさと文化研究会(編), 房総(千葉)学検定学習帳. pp. 49-

51. 国書刊行会.

吹春俊光. 2008. 勝浦の朝市のきのこ. 海からのたより, 第45号.

奥野淳兒

奥野淳兒. 2008. 自然誌博物館と動物のタイプ標本. 海からのたより, 第39号.

奥野淳兒. 2008-2009. 海の紳士録1 マルミカイガラカツギ 6月2日, 8 コマチイバラモエビ 8月4日, 14 オルトマンワラエビ 9月15日, 20 ハマダンゴムシ 10月27日, 26 スベスベマンジュウガニ 12月22日, 30 オトヒメエビ 1月19日, 38 ヤイトサラサエビ 3月30日. 千葉日報.

奥野淳兒. 2008. イソギンチャクモエビ. 友の会ニュース(千葉県立中央博物館友の会), (65): 6.

奥野淳兒. 2008. 海の博物館(勝浦市)でのエビ・カニ観察会. 千葉生物誌, 58(2): 81-82.

奥野淳兒. 2009. 全体像がわからないスベスベオトヒメエビ属. 海からのたより, 第47号.

奥野淳兒. 2009. ちば水辺の生命81 カリオヒラムシ. 読売新聞千葉版, 2009年2月1日.

奥野淳兒. 2009. ちば水辺の生命82 カザリイソギンチャクエビ. 読売新聞千葉版, 2009年2月8日.

柳 研介

柳 研介. 2008. 干潟のイソギンチャク. 海からのたより, 第40号.

柳 研介. 2008-2009. 海の紳士録2 ウメボシイソギンチャク 6月16日, 10 スズコケムシ 8月18日, 15 ヒメキンチャクガニ 9月22日, 21 カザリイソギンチャク 11月3日, 27 ミドリヒモムシ 12月29日, 34 グビジンイソギンチャク 3月2日. 千葉日報.

柳 研介. 2008. ドフラインが採集したイソギンチャク類. うみうし通信, (61): 6-7.

柳 研介. 2009. マリンサイエンスギャラリー準備小話. 海からのたより, 第48号.

立川浩之

立川浩之. 2008-2009. 海の紳士録3 オカダウミウシ 6月23日, 9 ルリガイ 8月11日, 16 キクメイシモドキ 9月29日, 22 シオガマサンゴ 11月17日, 28 エラブウミヘビ 1月5日, 36 アメフラシ 3月16日. 千葉日報.

立川浩之. 2008. ボウシュウサンゴ. 海からのたより, 第44号.

立川浩之. 2008. ちば水辺の生命75 ツマジロナガウニ. 読売新聞千葉版, 2008年11月30日.

立川浩之. 2009. ちば水辺の生命84 アカヒトデヤドリニナ. 読売新聞千葉版, 2009年3月1日.

立川浩之. 2009. 平成20年度マリンサイエンスギャラリー展示解説書「東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きもの」. 16 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

立川浩之. 2009. 平成20年度マリンサイエンスギャラリー展示解説シー1. 小笠原の島じま. 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

立川浩之. 2009. 平成20年度マリンサイエンスギャラリー展示解説シー2. 東洋のガラパゴスキーワード集. 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

立川浩之. 2009. 平成20年度マリンサイエンスギャラリーワークシート. 小笠原うみのいきものクイズ. 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

菊地則雄

菊地則雄. 2008. 2, 3月の出来事から. 海からのたより, 第38号.

菊地則雄. 2008-2009. 海の紳士録4 イソハナビ 6月30日, 11 無節サンゴモ類 8月25日, 17 オオノアナメ 10月6日, 23 ス サビノリ 11月24日, 29 ハバノリ 1月12日, 33 ユカリ 2月 16日. 千葉日報.
菊地則雄. 2008. ニュージーランドのワカメ. 海からのたより, 第46号.
菊地則雄. 2008. ちば水辺の生命77 カワモズク. 読売新聞千葉 版, 2008年12月21日.

村田明久

村田明久. 2008-2009. 海の紳士録6 エボシガイ 7月21日, 12 カメノテ 9月1日, 18 ムラサキハダカエボシ 10月13日, 24 クロフジツボ 12月1日, 32 イワフジツボ 2009年2月2日, 35 ミョウガガイ 3月9日. 千葉日報.
村田明久. 2008. 焼け石の上の水. 海からのたより, 第42号.
村田明久. 2009. 季節の変わり目. 海からのたより, 第49号.

大久保 守

大久保 守. 2008. 9月の海はきれいです. 海からのたより, 第43号.

学会発表

吹春 俊光

吹春俊光. 2008.5. 菌根型からみた植生景観の変遷. 日本菌学会 第52回大会, 三重大学三翠ホール, 津市.
Fukihar, T. and K. Shimizu. 2008.9. Two new *Coprinopsis* ammonia fungi from Japan and New Zealand. The 5th meeting of east Asia for collaboration on edible fungi. Fukuoka, Japan.
吹春俊光・清水公徳・宇都宮英之・後藤龍太郎・岡本朋子・加藤真. 2008.9. 奄美大島で採集されたアンモニア菌. 日本きのこ学 会第12回大会. 九州大学百年講堂, 福岡市.

奥野淳児

奥野淳児. 2008.6. 屋久島から採集されたイソギンチャクモドキ カクレエビ属の1未記載種. 日本動物分類学会第44回大会, 横 浜国立大学, 横浜市.
奥野淳児. 2008.11. ダイバーが研究者に求めているもの—甲殻 類の分類学を例として—. 日本甲殻類学会第46回大会, 一般 公開シンポジウム「甲殻類研究」を越えて—研究成果の還元の ありかた—. 鹿児島大学水産学部, 鹿児島市.

柳 研介

柳 研介. 2008.6. 本邦産 *Epiactis* 属および *Cnidopus* 属イソギンチ ャク(花虫綱:イソギンチャク目:ウメボシイソギンチャク科) の分類学的再検討. 日本動物分類学会第44回大会. 横浜国立 大学, 横浜市.
柳 研介・村田明久・立川浩之. 2008.9. 殻上にイソギンチャクを 付着させるウスカワイトカケ *Epitonium bullatum* (翼舌目:イト カケガイ科)について. 2008年度日本ベントス学会・日本プ ランクトン学会合同大会. 熊本県立大学, 熊本市.
鈴木孝男・内野敬・金谷弦・安野翔・佐藤正典・柳 研介・風呂田利 夫. 2008.9. 陸奥湾芦崎干潟の底生動物群集. 2008年度日本ベ ントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 熊本県立大学, 熊本市.
柳 研介. 2008.11. 日本産イソギンチャク類分類の現状と展望. 東京大学海洋研究所共同利用研究集会「我が国における刺胞 動物研究」. 東京大学海洋研究所, 東京.
柳 研介・村田明久・立川浩之. 2009.3. ウスカワイトカケとミナ

ミウメボシイソギンチャクの関係. 第4回日本刺胞動物等談話 会. 新江ノ島水族館, 神奈川県藤沢市.

柳 研介・村田明久・立川浩之. 2009.3. 殻上にイソギンチャクを 付着させるウスカワイトカケ(翼舌目:イトカケガイ科). 日本 生態学会第56回全国大会. 岩手県立大学, 岩手県滝沢村.

立川浩之

立川浩之. 2008.6. 日本産ツツミサンゴ科 Turbinoliidae の一未 記載種およびその属位の検討. 日本動物分類学会第44回大会. 横浜国立大学, 横浜市.

Lin, M.-F., H. Tachikawa, S.-M. Chao, K.-S. Lee and C. A. Chen. 2008.12. Geographic distribution and biodiversity of deep-sea azooxanthellate corals (Hexacorallia, Anthozoa, Cnidaria) in Taiwan. 4th International Symposium on Deep-sea Corals. Wellington, New Zealand.

柳 研介・村田明久・立川浩之. 2008.9. 殻上にイソギンチャクを 付着させるウスカワイトカケ *Epitonium bullatum* (翼舌目:イト カケガイ科)について. 2008年度日本ベントス学会・日本プ ランクトン学会合同大会. 熊本県立大学, 熊本市.

柳 研介・村田明久・立川浩之. 2009.3. ウスカワイトカケとミナ ミウメボシイソギンチャクの関係. 第4回日本刺胞動物等談話 会. 新江ノ島水族館, 神奈川県藤沢市.

柳 研介・村田明久・立川浩之. 2009.3. 殻上にイソギンチャク を付着させるウスカワイトカケ(翼舌目:イトカケガイ科). 日 本生態学会第56回全国大会. 岩手県立大学, 岩手県滝沢村.

菊地則雄

阿部真比古・小林正裕・玉城泉也・藤吉栄次・菊地則雄. 2008.10. ミトコンドリアDNAの部分塩基配列比較による変種オオバ アサクサノリの判別. 日本水産増殖学会第7回大会, コガノイ ベイホテル, 和歌山県白浜町.

Kikuchi, N., S. Arai, G. Yoshida, J.-A. Shin, J. E. Broom, W. A. Nelson and M. Miyata. 2008.11. *Porphyra miurae* sp. nov. (Bangiales, Rhodophyta) from Japan based on the mor- phology, life history and molecular sequence data. 5th Asian Pacific Phycological Forum. Wellington, New Zealand.

Tamaki, M., M. Kobayashi, E. Fujiyoshi, M. Abe, R. Fuseya, N. Ohshiro, Y. Sudo and N. Kikuchi. 2008.11. Distribution pattern of *Porphyra* (Bangiales, Rhodophyta) species with PCR-RFLP analysis around Okinawa Islands, Japan. 5th Asian Pacific Phycological Forum. Wellington, New Zealand.

菊地則雄. 2008.12. 日本産アマノリ属の種と生活史の多様性— 海苔養殖種苗の開発に関連して—. 2008年植物の新品種の保 護に関する国際条約(UPOV条約)関係セミナー. 麗水, 大韓民 国.

村田明久

柳 研介・村田明久・立川浩之. 2008.9. 殻上にイソギンチャクを 付着させるウスカワイトカケ *Epitonium bullatum* (翼舌目:イト カケガイ科)について. 2008年度日本ベントス学会・日本プ ランクトン学会合同大会. 熊本県立大学, 熊本市.

柳 研介・村田明久・立川浩之. 2009.3. ウスカワイトカケとミナ ミウメボシイソギンチャクの関係. 第4回日本刺胞動物等談話 会. 新江ノ島水族館, 神奈川県藤沢市.

柳 研介・村田明久・立川浩之. 2009.3. 殻上にイソギンチャクを 付着させるウスカワイトカケ(翼舌目:イトカケガイ科). 日本 生態学会第56回全国大会. 岩手県立大学, 岩手県滝沢村.

5. 事務室から

(1) 平成20年度の利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数	27	26	25	27	31	25	23	26	22	25	24	26	307
入館者数	5,061	9,005	5,089	5,871	15,398	4,338	3,667	7,554	2,210	4,385	3,812	7,929	74,319
個人	4,637	7,843	3,713	4,838	14,892	3,987	3,127	7,096	2,037	4,275	3,475	7,789	67,709
団体	424	1,162	1,376	1,033	506	351	540	458	173	110	337	140	6,610
学校団体件数	1	11	19	14	3	3	4	3	0	1	1	1	61

(2) 平成20年度の臨時開館・休館

千葉県の子立博物館は、毎週月曜日(休日の場合はその翌日)と年末・年始を定期休館日としています。海の博物館では、右表のとおり利用者が集中するゴールデンウィーク、夏休み期間中の定期休館日および年末・年始に臨時開館しました。

また、施設のメンテナンス作業などのため、5月8日、10月21日～24日、12月16日～17日、1月8日、1月14日を臨時休館日としました。

臨時開館日	入場者数
平成20年 4月28日(月)	214
平成20年 8月 4日(月)	449
平成20年 8月11日(月)	541
平成20年 8月18日(月)	377
平成20年 8月25日(月)	445
平成20年12月28日(日)	334
平成21年 1月 2日(金)	517
平成21年 1月 3日(土)	615
平成21年 1月 4日(日)	456
平成21年 1月 5日(月)	256
計	4,204

(3) 安心情報

当館では、11月13日、勝浦海中公園センターと合同で津波発生を想定した避難訓練を実施しました(津波到着時刻は20分後と想定)。当日は関係職員だけでなく、ご来館中のお客様34名にもご協力をいただきましたが、約8分で避難を完了することができました。また、避難訓練終了後には、関係職員を対象に消火器及び消火栓を使用した消火訓練を実施し、火災発生時の対応についても再確認しました。

今後も定期的に各種訓練を実施し、お客様の安全確保と被害防止に努めてまいります。

(4) 博物館への手紙

「博物館への手紙」は、来館者のみなさまからのご意見や要望、ご質問などをお寄せいただく窓口です。展示ロビーに用紙と投函箱が備えてありますので、ぜひご意見をお寄せください。

- ・とてもたのしかったし、とくに資料をあつめられたのがよかったです！(12歳女性)
- ・ツチクジラの骨格は本物ですか？(7歳男性)
※本物です！千葉県沖で漁獲されたものです。
- ・もっと大きな水そうで生物が見たかったです。(33歳女性)
- ・世界にはいろいろな魚がいるんだと思った。(10歳男性)
- ・勝浦海岸でとれる貝の特集をしてほしい。(年齢性別未記入)
- ・久しぶりに来てみたらとても楽しかったです！また来ます。(16歳女性)
- ・とりさんのかなしいしゃんがかわいそうでした。(4歳女性)タッチパネルや実際に触ってみたりできる物が多く、子供達には楽しそうでした。鳥の悲しい写真集は、4歳の娘もわかるようで、2回も見ていました。(母)
※収蔵資料展「海辺の鳥たち」をご覧になった親子からのご感想です。
- ・展示の仕方が大変おもしろかった。機会があればまた訪れたいと思った。マンボウ、ネコザメの皮が気に入りました。(44歳男性)
- ・ウミヘビ、オウムガイにびっくり。時間をかけて見たいですね。(86歳男性)

職員から



海の博物館は、海の生き物についての知のバンクです。周りを海に囲まれ、大いに海の恩恵に浴している千葉県は、これから海とどうつきあっていったらよいのでしょうか。我々はまだまだ海のことをよく知りません。膨大な海の生き物のなかで、まだ名前すらないものも無数にいます。海の博物館の存在意義は決して小さくありません。(布留川)

3年間海の博物館に勤務させていただき、この度転勤となってしまいました(非常に残念！)。海の博物館では、毎年様々な企画展示を行っています。平成20年度のマリンサイエンスギャラリーは、小笠原諸島の海の生きものを開催し、私は、大変興味深く見せていただき、小笠原には行ったことがありませんが、是非行ってみたい展示でした。平成21年度も、大収蔵資料展、マリンサイエンスギャラリー、海の写真展、また、企画展示以外にも、観察会や講座等、盛りだくさんの企画が目白押しです。私も楽しみにしておりますので、皆様も是非この機会に海の博物館で楽しみましょう。(石田)

今年度はおかげさまで開館10周年を迎えることができました。これまでに

来館されたことがある方、またそうでない方も、豊かな自然に囲まれた海の博物館にぜひお越しください。(沖村)

1年間だけでしたが、海博には大変お世話になりました。ほとんど海のことに貢献できずの1年間でしたが、私は勝浦の朝市にならぶきのこをはじめてみて勝浦のきのこ文化を思い知りました。ありがとうございます。(吹春)

当館職員が持ち回りで毎週1回、1種類の海の生物を紹介する「海の紳士録」の連載が、「千葉日報」紙面でスタートしました。私は毎回甲殻類を取り上げましたが、「新聞にはぜひ載らないであろうマイナーな種類にスポットをあてる」ことにこだわっています。「世の中にはこんな甲殻類がいたんだ!」という発見をしていただければ嬉しく思います。(奥野)

開館時に海の博物館に就職して共に迎えた10周年でしたが、この度、海の博物館を去ることになりました。大好きな海の博物館で、海辺の四季を見ながら年を重ね、ここまで仕事ができることを本当に嬉しく思っています。振り返ってみると、これまで本当に多くの方々に支えられてきた

ことが思い起こされます。この場を借りて深く感謝いたします。皆様、本当にありがとうございました。(柳)

構想から3年、他の業務の間を縫いながら準備を進めてきたマリンサイエンスギャラリー「東洋のガラパゴス」は、80日間の会期を無事終えることができました。小笠原村の皆さんをはじめ、本当に多くの方々に協力いただいて展示を作り上げることができたのは担当者として大きな喜びです。今後も、じっくり腰を据えて質の高い博物館活動を続けていきたいと考えています。(立川)

海の博物館ができた10年前とは比べ物にならないくらい多くの学校・団体から磯観察等の依頼を受けるようになりました。海博が多くの方に利用されてきた証と思いますが、より一層の受け入れ態勢を構築するにはどうしたら良いのか、考える日々です。(菊地)

10年? いや、まさかそんな。いくら何でも。本当に? ..早いものですね。(村田)

私は海の博物館隣の吉尾地区で幼年期を過ごしました。博物館前の磯浜は、「コンシュ」(小吉尾の意味か?)と呼ばれ、祖父や祖母に連れられて磯あそびに来た懐かしい場所です。長く人文系博物館の学芸員だったため、自然誌は専門外なのですが、広報担当として入館者増をめざし、地道な努力を重ねています。(大久保)

携帯電話のカメラフォルダに、着々と海の生きものの写真が増えています。このまま増え続けるのが、楽しみなような、ちょっと怖いような…。(山岸)

この前、家の前で朝帰りのイノシシを見かけました。海博でも痕跡はよく見えますが、実物はなかなか…。自然が豊かな証拠でしょうか(笑)(芳賀)

職員の異動

平成20年4月1日
吹春 俊光(上席研究員) 転入(千葉県立中央博物館)
大久保 守(研究員) 再任用(千葉県教育振興財団)
平成21年3月31日
布留川 毅(分館長) 転出(いすみ市立長者小学校)
石田 正和(主査) 転出(千葉県立夷隅特別支援学校)
吹春 俊光(上席研究員) 転出(千葉県立中央博物館)
柳 研介(上席研究員) 転出(千葉県立中央博物館・環境生活部自然保護課併任)

平成20年度 千葉県立中央博物館分館海の博物館
ニュースレター「いそっぴ通信」No.10
平成22年3月15日発行
編集・発行 千葉県立中央博物館分館海の博物館
〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123
電話 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821
e-mail: umihaku@chiba-muse.or.jp
<http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/index.htm>

海の博物館 ご利用の案内

開館時間 9:00~16:00(入館は16:00まで)
休館日 毎週月曜日(月曜日が休日にあたる場合は翌日)
*その他臨時開館・休館あり
入場料 一般:200円 高校・大学生:100円 中学生以下、65歳以上:無料、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方(手帳提示)とその介護者:無料
*団体割引等あり
駐車場 8:30~17:15(年中無休、入車は16:15まで)
普通車 2時間まで200円、以後1時間ごとに100円
中・大型車 2時間まで600円、以後1時間ごとに300円
*障害者無料(手帳提示)
交通 電車(JR外房線)・バス
・鶴原駅から徒歩15分、勝浦駅からタクシーで約10分
・勝浦駅から小湊鉄道バス「興津経由松野」行き「吉尾入口」下車、徒歩12分、土・日曜日・祝日は「海中公園・海の博物館」行き、終点下車、徒歩0分
自家用車
・千葉市からR16(市原)、R297(大多喜)、R128(勝浦)を通過して約2時間
・東京湾アクアラインから圏央道、R410、R409(牛久)、R297(大多喜)、R128(勝浦)を通過して約1時間半
・館山市からR128(鴨川)を通過して約1時間半



この印刷物は、当館が印刷プロセスで使用する3.2kgのアルミ板をリユースして印刷させる事で、CO2排出量29.25kg削減しました。



29.25kgのCO2削減量は、約209本の杉の木の成長に必要なCO2量に相当します。

当館は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しております。